

馬毛島における自衛隊施設の整備について

～地元の声を受けた主な防衛省の対応～

令和5年5月、工事に関する地元の声について、地元自治体と緊密に意思疎通を図りながら、適切に対応するとの考えから、主な防衛省の対応をお示したところですが、その後の主な進捗に関し、以下のとおりまとめました。

種子島の宿泊施設や賃貸物件の空き状況等への影響

- ◆ 種子島に滞在する工事関係者については、仮設宿舎の利用を促進、宿泊施設及び賃貸物件の使用は横ばいであり、影響を最小限に限定

仮設宿舎 4月：約200名 → 8月：約520名

宿泊施設 4月：約150名 → 8月：約160名

賃貸物件 4月：約280名 → 8月：約300名

※4月は、4月1日現在、8月は、8月31日現在の人数

- ◆ 馬毛島の仮設宿舎の建設は着実に進捗

・ 仮設宿舎 7月：約340室整備
→ 10月頃まで：約570室整備予定

- ◆ レンタカー

・ 工事受注者に対し、レンタカーを使用するにあたっては乗合を求めするなど、借用台数を最小限に限定 4月：約40台 → 8月：約30台

※（ライトバン等の業務用車両が中心）

※このほか島外のリース業者から約210台を借入

廃棄物の処理

- ◆ 廃棄物の減量のための取組（馬毛島内）

・ 小型焼却炉の設置（9月30日設置） ・ 生ごみ処理機（9月30日設置） ・ 浄化槽汚泥用の脱水装置及び乾燥処理装置
（令和6年1月頃設置予定）

工事の安全（交通安全を含む）、治安

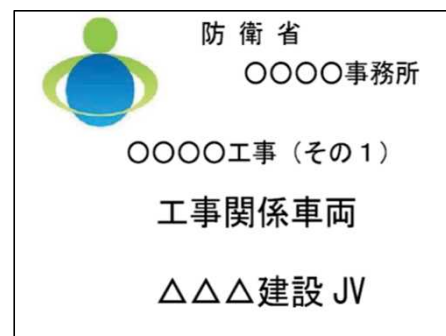
- ◆ 住民の方々のご懸念を踏まえ、工事受注者に対し、累次にわたり指示
 - ・ 交通法規の遵守を含め、工事の安全に万全を期すこと
 - ・ 私生活においてもトラブル等が生じないようにすること

- ◆ 工事車両の通行ルート沿いに交通誘導員を配置（18名）



（学校近くの横断歩道における交通誘導員の対応状況）

- ◆ 防衛省工事の車両と分かるよう、資機材輸送車両には、ダッシュボードにステッカーを表示



- ◆ 工事関係者がかかわるトラブル等が生じた場合に迅速な対応がとれるよう平素から警察等との情報交換を引き続き実施
- ◆ 警備会社による見回りを実施

馬毛島内の救急体制、避難体制

【救急体制】

馬毛島の仮設宿舎に医務室を設置し、7月15日から医師の巡回診療（1回/週）を開始。

看護師は8月22日より1名を追加し、計2名を常時配置

【避難体制】

台風時、馬毛島の工事関係者は、原則、仮設宿舎に避難

台風の通過が見込まれる場合、馬毛島内に残る工事関係者数を地元自治体に情報提供



(巡回診療の様子)

地元調達

- ◆ 受注業者において、これまで、事業の実施に必要な資機材、食料、事務用品等について地元から購入した実績があるものと承知
 - ・ 馬毛島島内で建設している仮設宿舎の鉄筋コンクリート製の基礎ブロックは主に種子島島内の複数のメーカー等で製作しており、令和5年9月時点で約1600個発注している
 - ・ このほか、馬毛島で提供する冷凍弁当や冷凍食材、馬毛島の仮設宿舎でレンタルしている什器類の多くは、種子島の業者から調達している

その他（地元との協力）

- ◆ 第54回種子島鉄砲まつりをはじめ各町内会の行事等において、受注業者が、各種協力を実施したものと承知

地元からの様々な声については、九州防衛局種子島連絡所を窓口とし、地域に与える影響を最小限にとどめるよう、引き続き、地元自治体と緊密に連携しながら速やかに対応してまいります